

第2章 事業概要

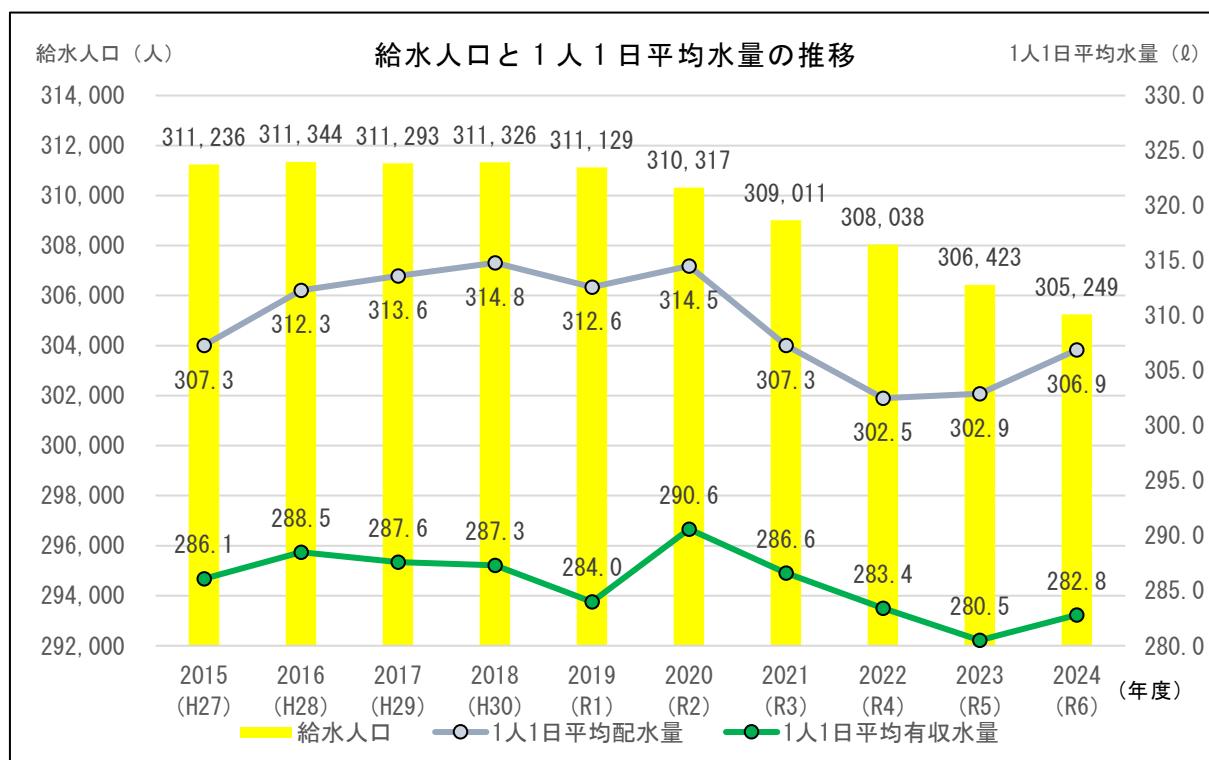
1 事業の現況

(1) 給水

本市水道事業では、有収水量の約9割を家庭用に配水しており、現在、人口が減少し始めていることや、節水機器の普及等により1人当たりの使用水量が減少していることから、配水量、有収水量はともに減少傾向にあります。

2020 年度(令和2年度)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭内での水の使用量が増えたため、配水量、有収水量ともに増加しました。2024 年度(令和6年度)は、リニア中央新幹線の工事が本格化したことなどにより、大口使用者の使用水量が増えたため、配水量、有収水量ともに増加しました。

供用開始年月日	1957 年(昭和 32 年)4月
計画給水人口	313,100 人
現在給水人口 【2024 年度(令和6年度)決算】	305,249 人
有収水量密度 【2024 年度(令和6年度)決算】	31,511 千 m ³ /7,370ha=4.28 千 m ³ /ha



(2) 水道施設

本市水道事業は、7期にわたる拡張事業により給水区域を拡大してきました。

特に昭和50年代以降に、人口の急増に合わせ、急速に水道施設の整備を行っており、当時整備した施設が、今後一斉に更新時期を迎えることになります。

また、この時期に整備した管路には、耐震性が不十分なものも見られます。

このため、計画的な更新及び耐震化に取り組む必要があります。

水源		県水受水、地下水
施設数※	浄水場の数	2箇所
	配水場の数	15箇所
管路延長 【2024年度(令和6年度)決算】		1,357.22km
施設能力 【2024年度(令和6年度)決算】		112,500 m ³ /日
施設利用率 【2024年度(令和6年度)決算】		83.3%

※内訳は資料編 P74、75



(3) 水道料金

料金体系	基本料金(10段階の口径別) 従量料金(口径 13～25mm は6段階、口径 30～200mm は4段階の逡増制)
料金改定年月日	2014 年(平成 26 年)4月1日(値下げ) (消費税のみの改定は含まない)

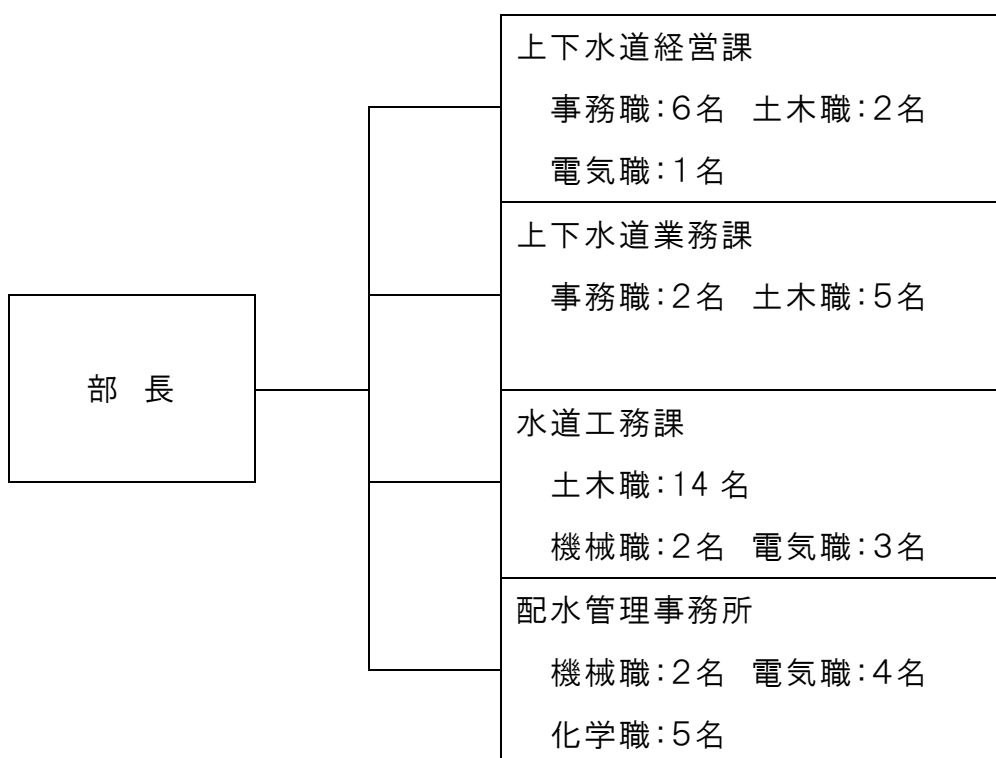
料金表 1か月当たり(税抜)

用途	口径(mm)	基本料金 (円/月)	従量料金	
			使用水量(m ³)	料金(円/m ³)
一般用	13 20 25	750 1,070 1,970	1～10	19
			11～20	103
			21～30	138
			31～40	176
			41～50	210
			51～	237
	30 40 50 75 100 150 200	3,460 6,440 9,700 24,390 41,760 95,040 153,600	1～50	210
			51～100	237
			101～200	242
			201～	254
湯屋用	-	4,800	1～200	7
			201～	27
一時用	-	3,360	1～	254

(4) 組織

本市水道事業に係る業務を行う部署は、3課1事務所で職員数、職種等は次のとおりです。

水道事業組織図(2025 年(令和7年)4月1日現在)



年齢別職員数(2025 年(令和7年)4月1日現在)

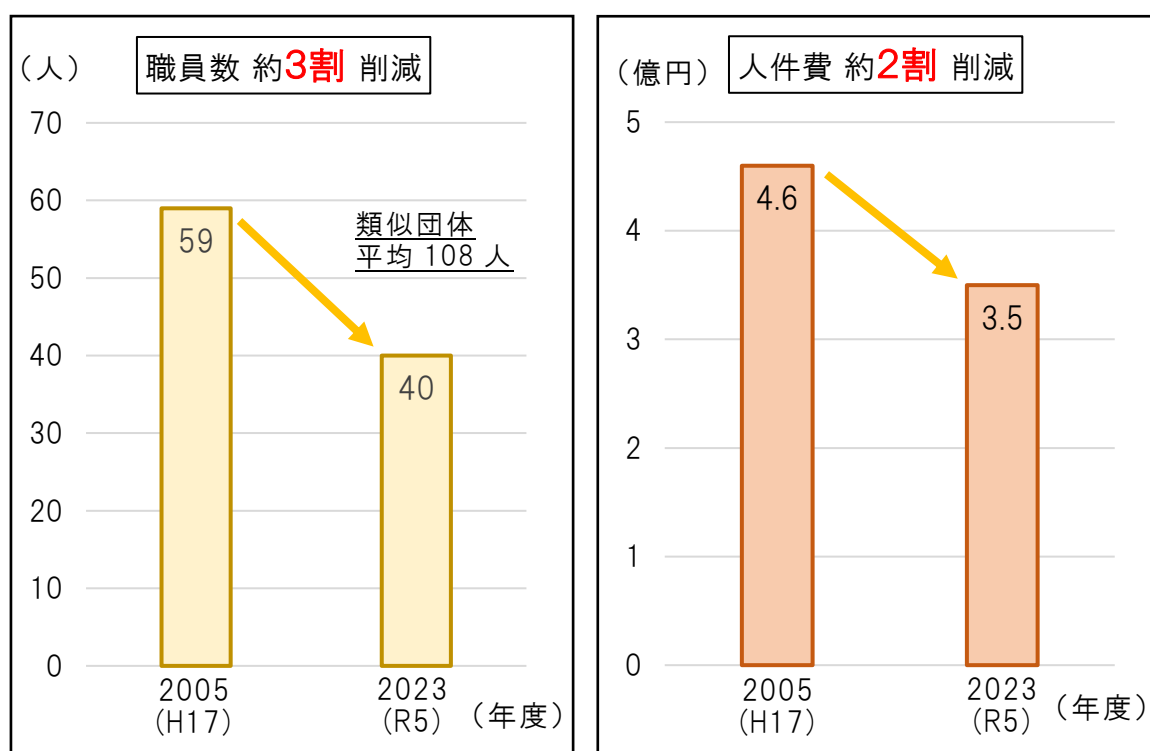
	上下水道 経営課	上下水道 業務課	水道工務課	配水管理 事務所	合計
61 歳～	0人	0人	0人	0人	0人
51～60 歳	1人	1人	3人	3人	8人
41～50 歳	5人	1人	1人	2人	9人
31～40 歳	2人	2人	10人	5人	19人
～30 歳	1人	3人	5人	1人	10人
合計	9人	7人	19人	11人	46人

2 これまでの主な経営健全化の取組

(1) 業務執行体制の適正化

本市水道事業は、水道部と下水道部を統合し、水道と下水道の管理部門・窓口部門を一元化するなど、組織の再編等による業務効率化に努めてきました。

なお、愛知県内の名古屋市を除く給水人口が30万人以上の末端給水事業者である類似団体と比較しても職員数は少ない水準にあります。

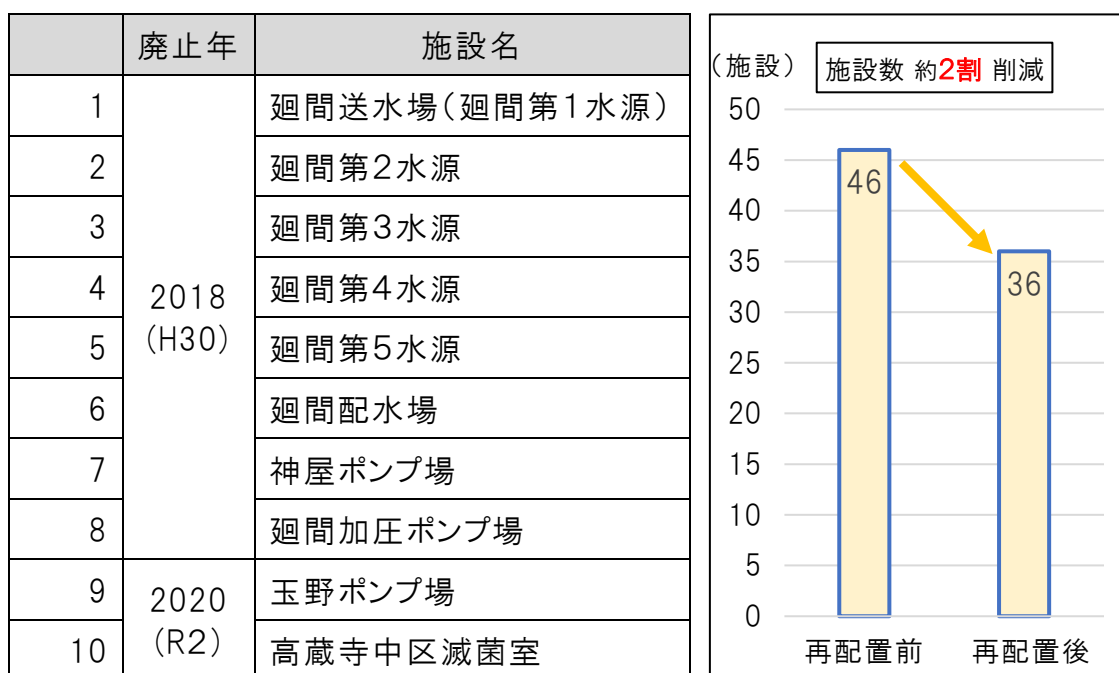


■ 県内類似団体

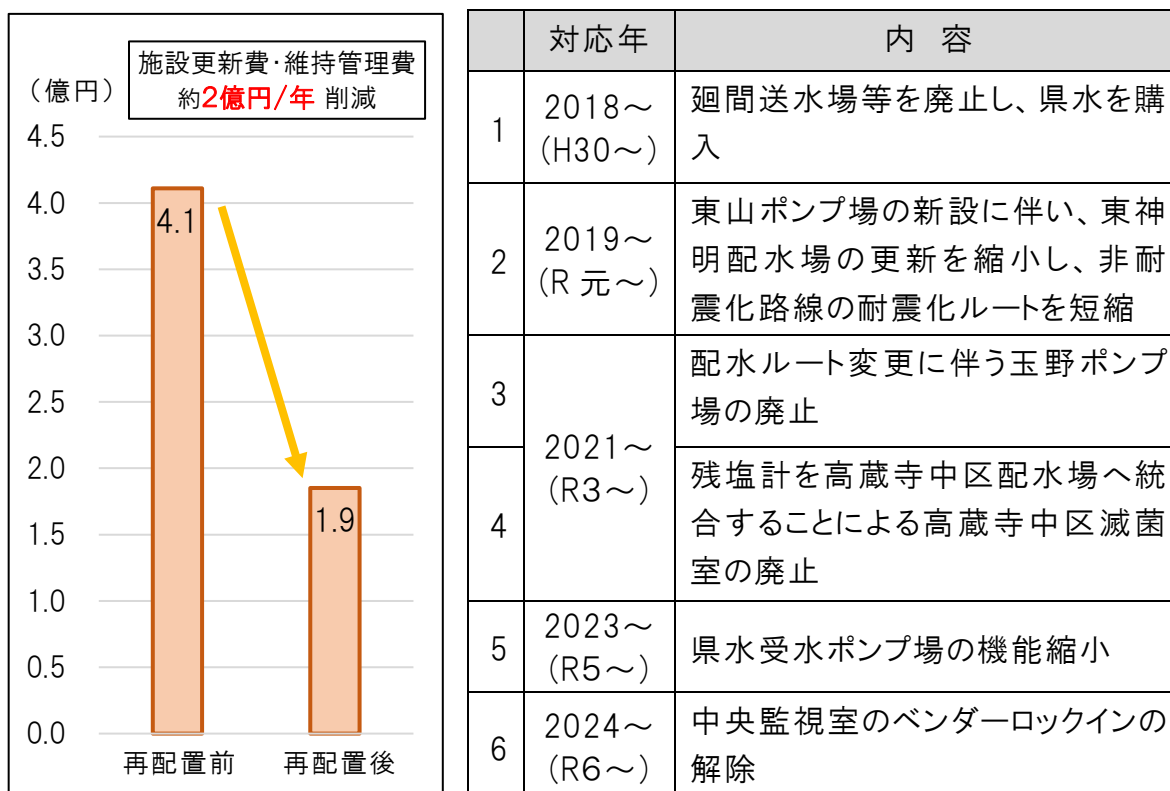
豊橋市、岡崎市、一宮市、豊田市、愛知中部水道企業団

(2) 将来を見据えた適正な施設の再配置

第1次経営戦略策定に基づき、施設の運用を見直し、送水場及びポンプ場等の統廃合を進めています。



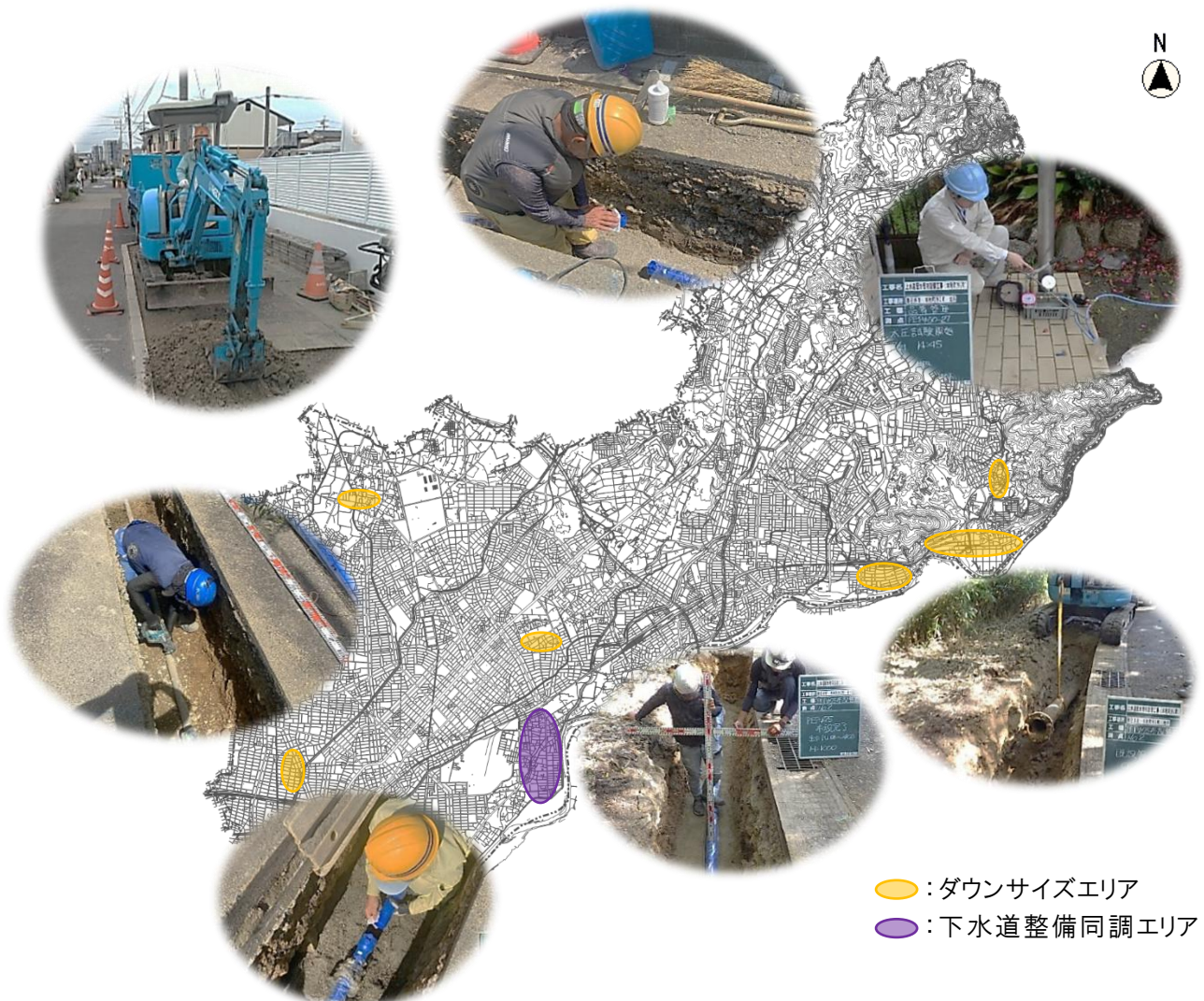
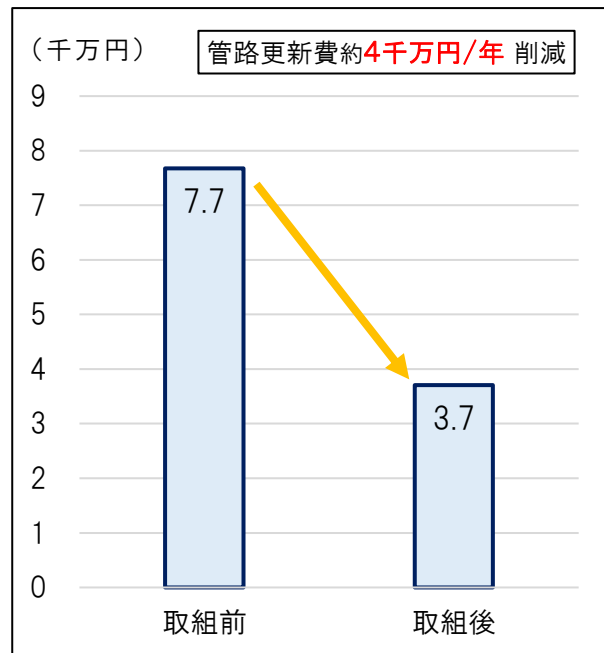
また、施設の統廃合を進めることによるダウンサイジング等により、現状のまま更新を行うより、更新費及び維持管理費の削減を図っています。



(3) 効率的な管路整備

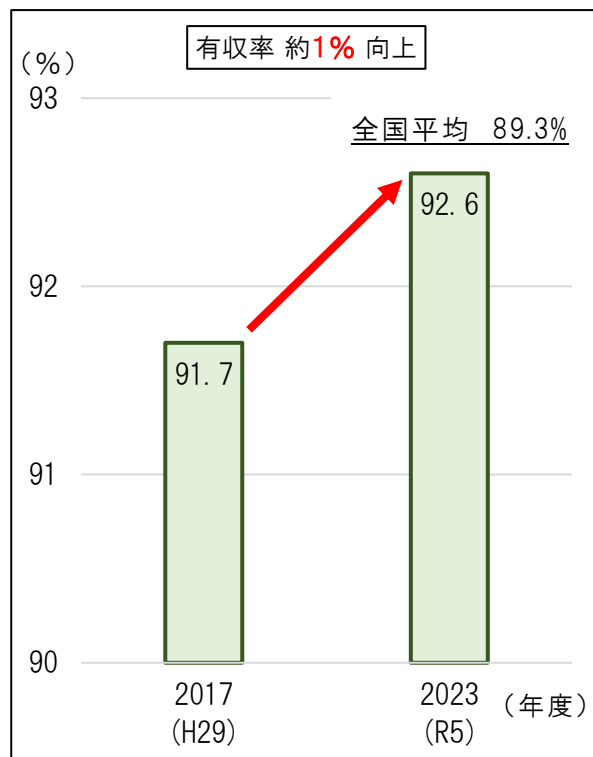
老朽管更新事業において、対象地区の水需要を勘案し、現状過大な管径を適正な管径にダウンサイジングすることや、下水道整備等他の事業と合わせて布設替えを行うことにより、舗装復旧費の削減を行っています。

(2018年度(平成30年度)から2024年度(令和6年度)までの算定)



(4) 適正な維持管理

配水場から供給した水量（配水量）に対して、実際に水道料金として収入になった水量（有収水量）の割合を有収率と言います。数値が高いほど無駄なく水道水を供給できていることを意味しており、漏水調査の規模拡大と早期修繕により、有収率の向上・維持に努めています。



(5) 収益の確保

水道施設の用地の一部について、駐車場などで貸し付けることにより収益化を図っています。

また、旧水道施設の未利用地について、今後の活用方法を検討するにあたり、ホームページにて活用希望者及びアイデア募集をするなど、積極的に保有資産の有効活用を推進し、収益の確保に努めています。

ホームページ掲載バナー

事業・個人用の土地情報掲載中

**旧水道施設
未利用地の**

**活用希望者
&
アイデア**

を募集します

買いたい方、借りたい方、ご相談ください

市 HP にて詳細を確認できます。

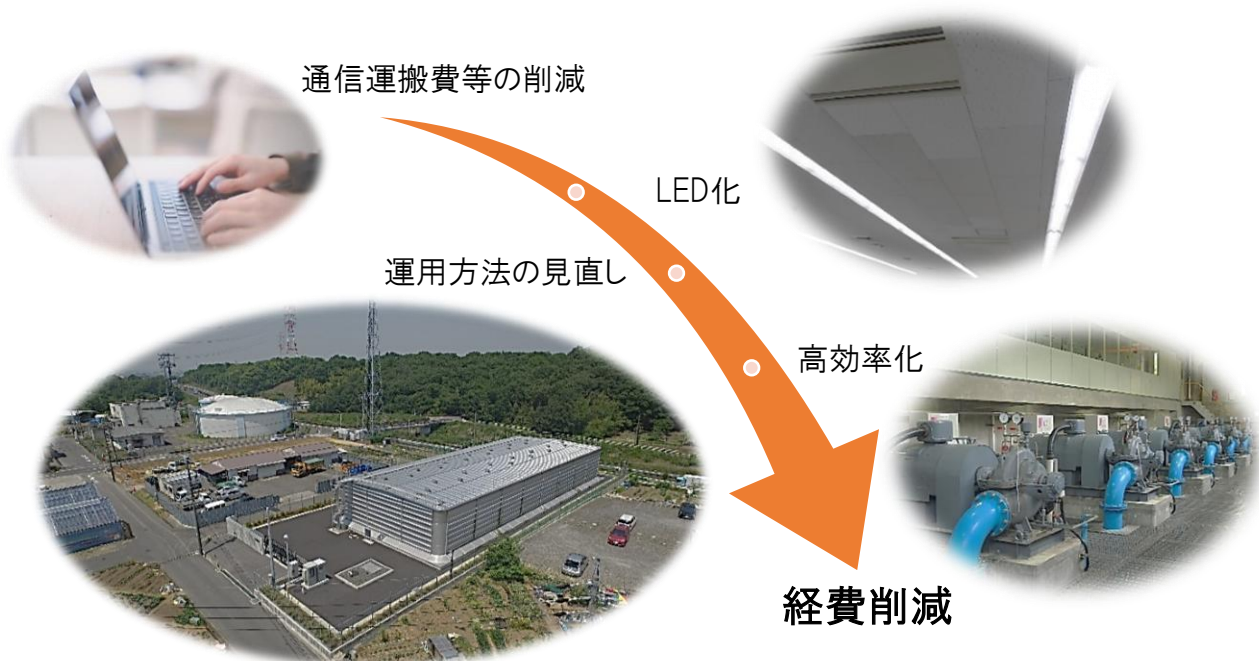


(6) 経費(その他)の削減

浄水場やポンプ場など水道施設の運転には多くの電力を使用するため、本市では、高効率モーターやLED照明などの高効率機器の導入、浄水施設や配水施設の運用方法を見直す等により、省エネルギー化を推進しています。

また、地域の電力の安定供給にも貢献するため、「公共施設への電力供給とゼロカーボン推進に関する連携協定」に基づく取組として、送水ポンプの運転時間帯を調整し、電力のピーク需要を抑制するデマンドレスポンスを実施してきました。

その他、水道料金の口座振替済通知書の廃止を行うなど、通信運搬費及び印刷製本費の削減に努めています。



(7) 広域化

経営基盤の強化や経営の効率化を図ることを目的として、愛知県が主催する「愛知県水道広域化研究会議」に参加しています。また、一宮市との「水質検査の相互協力に関する協定書」に基づき、緊急時の水質検査について相互協力を行っています。



3 現状分析

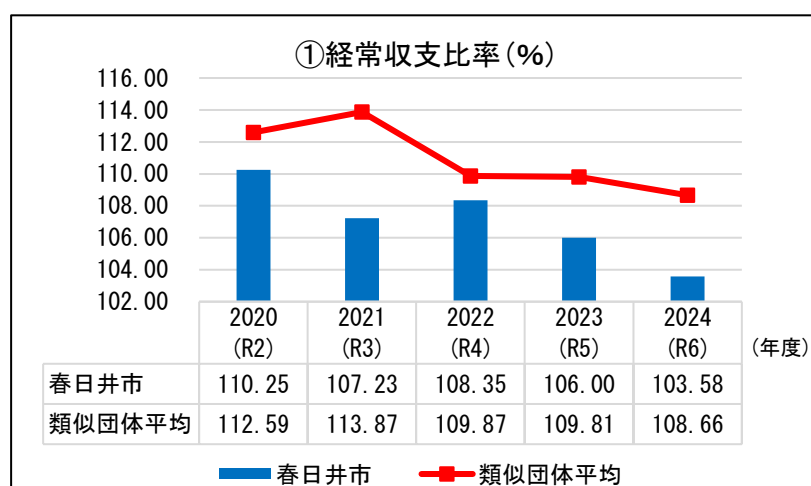
水道事業は、料金収入をもって経営を行う「独立採算制」を基本原則としています。将来にわたり、安全で安心な水を安定して供給し続けるには、現状分析を行い、課題を把握する必要があります。

そのため、総務省の経営比較分析表や第1次経営戦略の計画指標により現状分析を行いました。

(1) 経営比較分析表を活用した現状分析

ア 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率



■ 指標の概要

給水収益等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標で、100%以上の場合は経常黒字を、100%未満の場合は経常赤字を表します。

$$\text{経常収支比率(\%)} = \frac{\text{経営収益}}{\text{経営費用}} \times 100$$

■ 本市の状況

類似団体平均と比較すると低い水準となっており、100%は保っているものの、給水人口の減少や1人当たりの水需要の減少による経常収益の減少や物価高騰等による経常費用の増加により比率は低下傾向にあります。

② 累積欠損金比率

年度 区分	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
春日井市	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
類似団体平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

■指標の概要

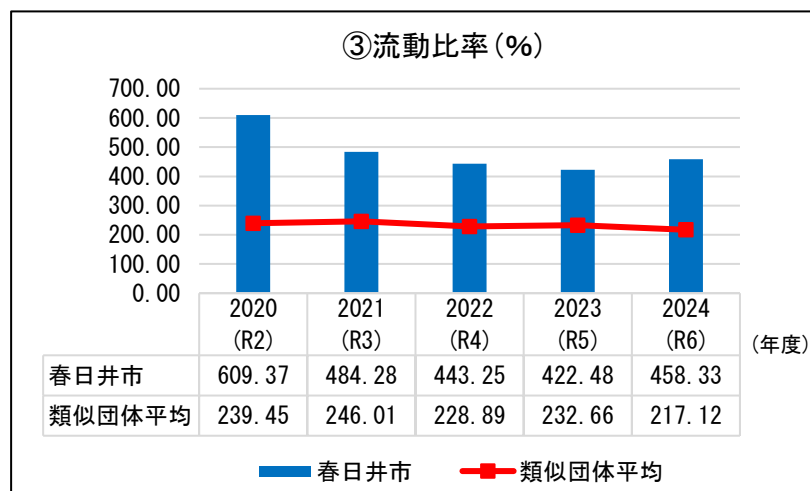
営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のことで、累積欠損金が発生していないことを示す 0%であることが求められます。

$$\text{累積欠損金比率(\%)} = \frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益－受託工事収益}} \times 100$$

■本市の状況

2013年度(平成25年度)に累積欠損金を解消して以降は、発生していません。

③ 流動比率



■指標の概要

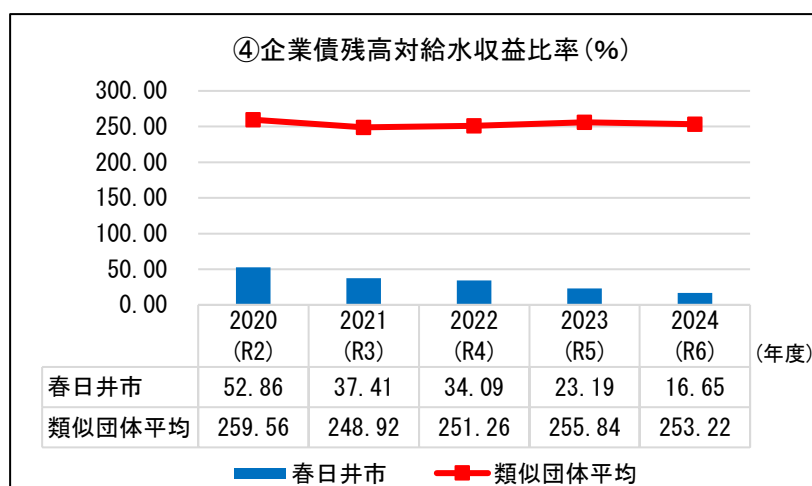
短期的な債務に対する支払能力を表す指標であり、1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。

$$\text{流動比率(\%)} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

■本市の状況

類似団体平均を上回り、短期的な債務に対する支払能力を確保できています。

④ 企業債残高対給水収益比率



■ 指標の概要

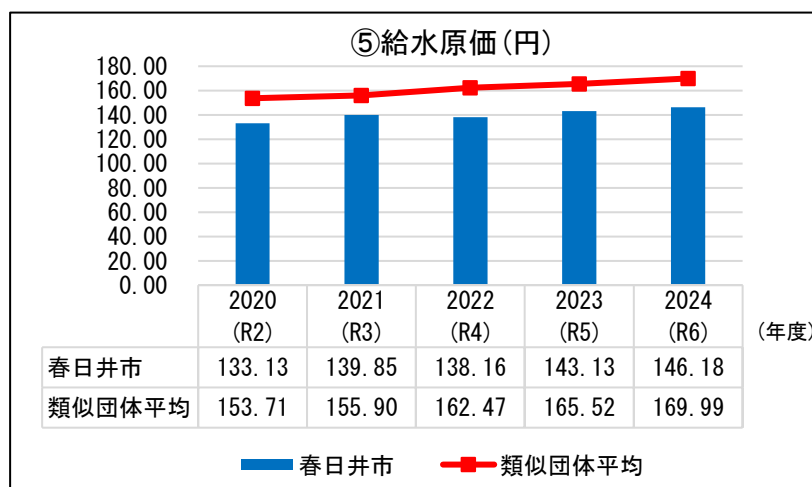
給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。明確な数値基準はありませんが、投資規模は適切か、料金水準は適切か、といった分析を行い、適切な数値となっていることが求められます。

$$\text{企業債残高対給水収益比率(\%)} = \frac{\text{企業債現在高の合計}}{\text{給水収益}} \times 100$$

■ 本市の状況

2001年度(平成13年度)以降、新たに企業債の借入を行っていないため、類似団体平均より下回っています。

⑤ 給水原価



■指標の概要

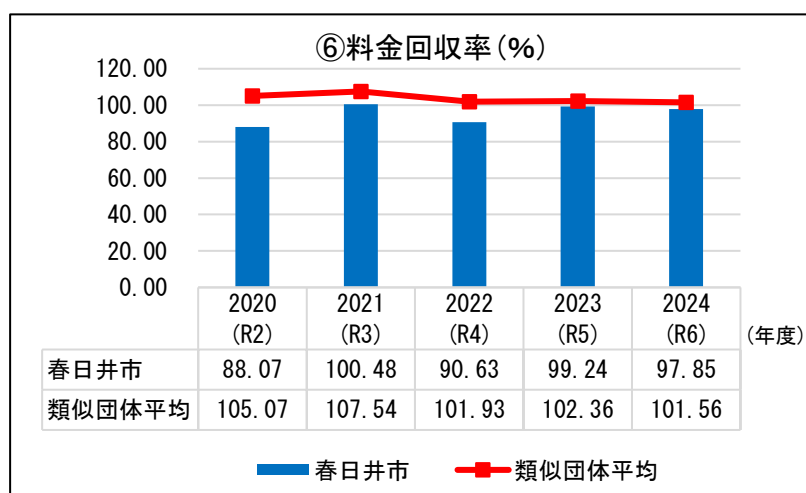
有収水量1 m³ 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標です。明確な数値基準はありませんが、現状を分析し適切な数値となっていることが求められます。

$$\text{給水原価(円)} = \frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{長期前受金戻入}}{\text{有収水量}}$$

■本市の状況

類似団体平均を下回っていますが、給水人口の減少や1人当たりの水需要の減少等に伴い有収水量が減少傾向で、物価高騰等の影響で費用が増加傾向であるため、年々増加傾向で推移しています。

⑥ 料金回収率



■指標の概要

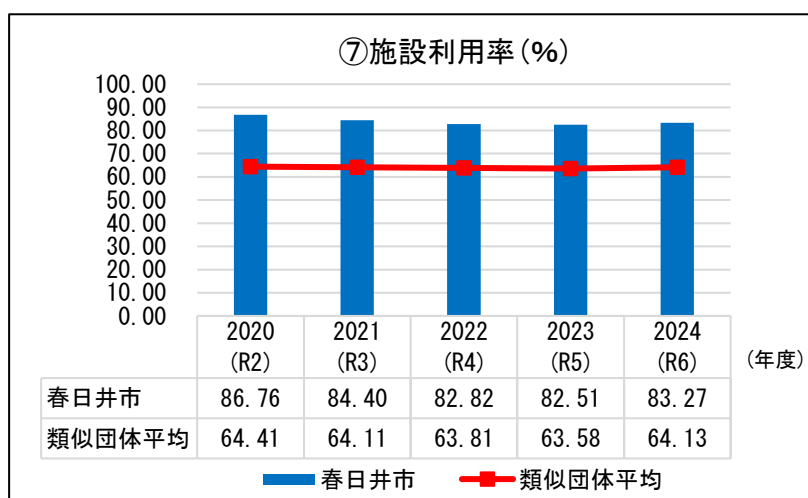
給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準等を評価することが可能です。供給単価と給水原価との関係を見るものであり、料金回収率が100%を下回っている場合、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味します。

$$\text{料金回収率(\%)} = \frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$$

■本市の状況

2020年度(令和2年度)に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う支援対策、2022年度(令和4年度)に物価高騰の支援対策として水道料金の基本料金を免除したことにより、給水収益が減少したため低くなっています。その他の年度は、2021年度(令和3年度)は概ね100%でしたが、2023年度(令和5年度)からは、物価高騰等に伴う費用の増加により、100%を下回っています。

⑦ 施設利用率



■指標の概要

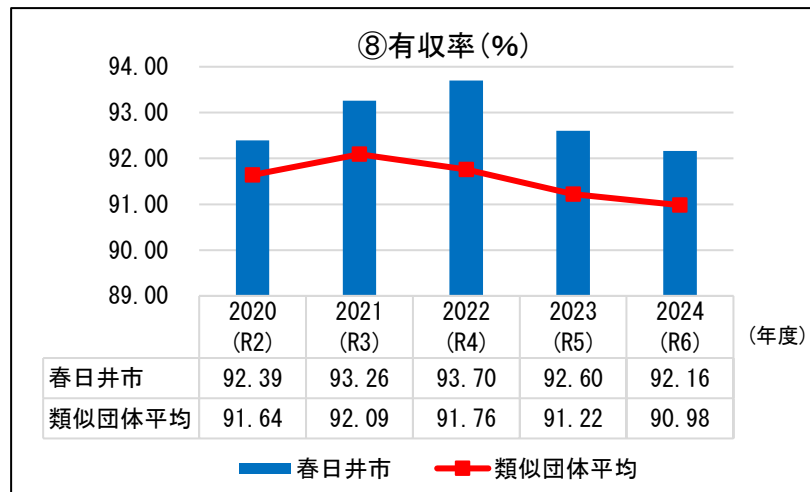
1日配水能力に対する1日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。明確な数値基準はありませんが、一般的には高い数値であることが望まれます。ただし、数値が高すぎると、余力が少なく突発的な水需要に対応出来なくなることから安定供給という視点から問題になります。

$$\text{施設利用率(\%)} = \frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$$

■本市の状況

8割が県水からの受水となっていることから、類似団体を上回っており、高い値で安定しています。

⑧ 有収率



■ 指標の概要

施設からの配水が収益につながっているかを判断する指標で、100%に近ければ近いほど施設からの配水が収益に反映されていると言えます。

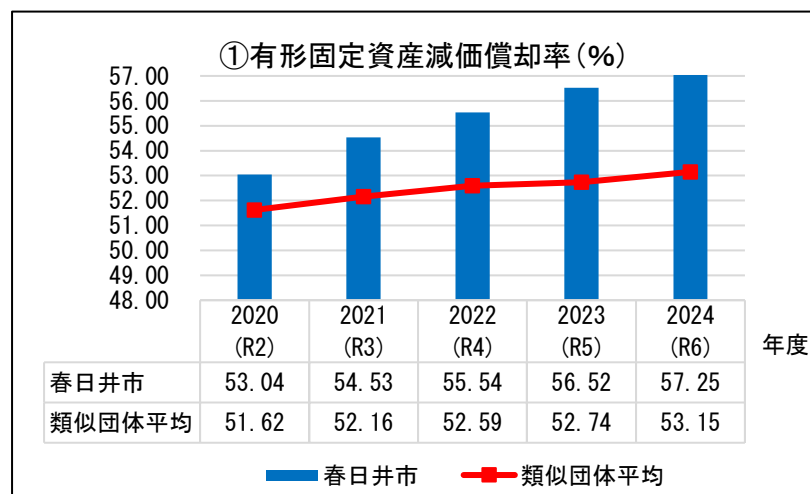
$$\text{有収率(\%)} = \frac{\text{有収水量}}{\text{配水量}} \times 100$$

■ 本市の状況

計画的に区域ごとで、漏水調査を行い、収益に結びつかない漏水による水量の軽減に努めることにより、類似団体の平均値を上回っています。

イ 老朽化の状況

① 有形固定資産減価償却率



■指標の概要

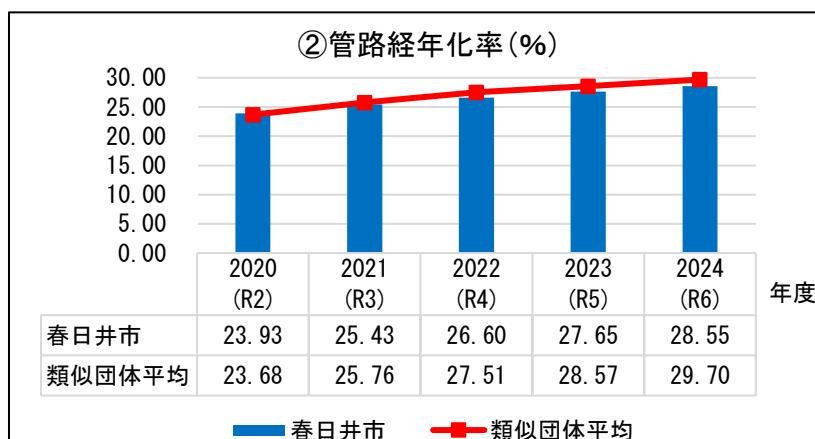
有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示します。明確な数値基準はありませんが、一般的に、数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができます。

$$\text{有形固定資産減価償却率(\%)} = \frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却資産の帳簿原価}} \times 100$$

■本市の状況

償却対象資産の減価償却が進み、類似団体と比べ、老朽化が進んでいます。

② 管路経年化率



■指標の概要

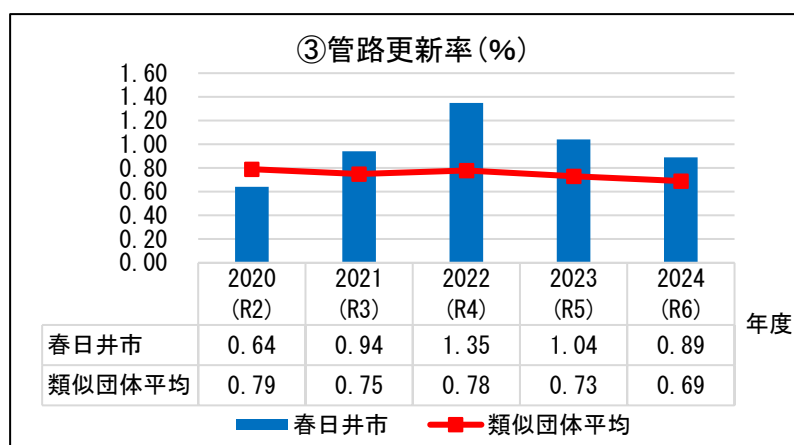
法定耐用年数を経過した管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化度合を示しています。明確な数値基準はありませんが、一般的に、数値が高い場合は、法定耐用年数を経過した管路を多く保有しており、管路の更新等の必要性を推測することができます。

$$\text{管路経年化率(\%)} = \frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$

■本市の状況

法定耐用年数を経過した管路が増加傾向で推移し、類似団体と同程度となっています。

③ 管路更新率



■ 指標の概要

当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できます。明確な数値基準はありませんが、全ての管路の更新に何年かかるか推測できる指標となります。

$$\text{管路更新率(\%)} = \frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$

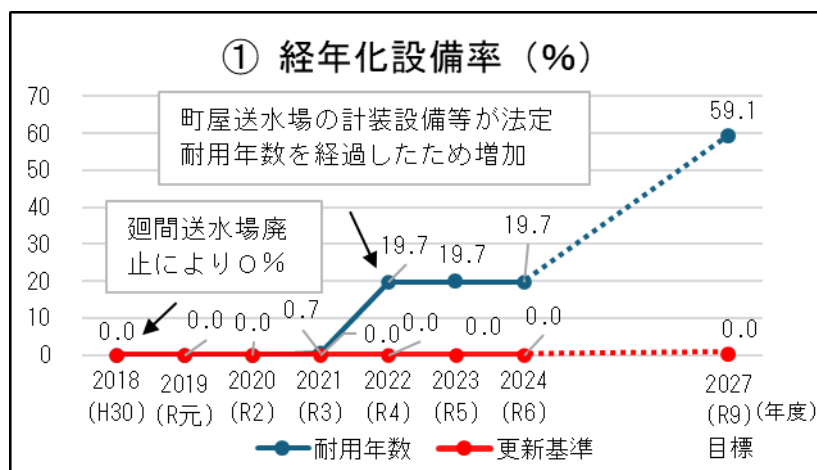
■ 本市の状況

口径の大きさ等により工事費に違いがあり、大口径の管路を行う年度は、管路延長が短くなるため、更新率に増減がありますが、概ね類似団体を上回るペースで管路の更新を進めています。

(2) 第1次経営戦略の現状分析

ア 水道施設の計画的更新

① 経年化設備率(施設の耐用年数、更新基準については、39 ページに記載)



■指標の概要

浄水場内の法定耐用年数を経過した電気・機械設備の割合を表す指標で、浄水場内の設備の老朽化度合を示しています。明確な数値基準はありませんが、一般的に数字が高い場合は、法定耐用年数を経過した設備を多く保有しており、設備の更新等の必要性を推測することができます。

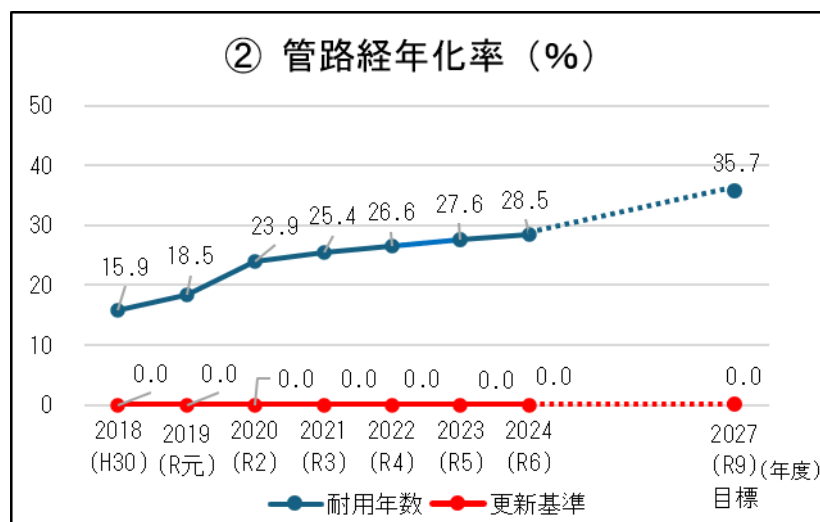
$$\text{経年化設備率(\%)} = \frac{\text{法定耐用年数を経過した電気・機械設備数}}{\text{電気・機械設備数}} \times 100$$

■本市の状況

法定耐用年数で算出した経年化設備率は段階的に上昇し、2027年度(令和9年度)には、知多配水場の計装設備が法定耐用年数を経過する見込みですが、計画通り推移しています。

なお、第1次経営戦略で定めた更新基準を経過した設備はありません。

② 管路経年化率(管路の耐用年数、更新基準については、40ページに記載)

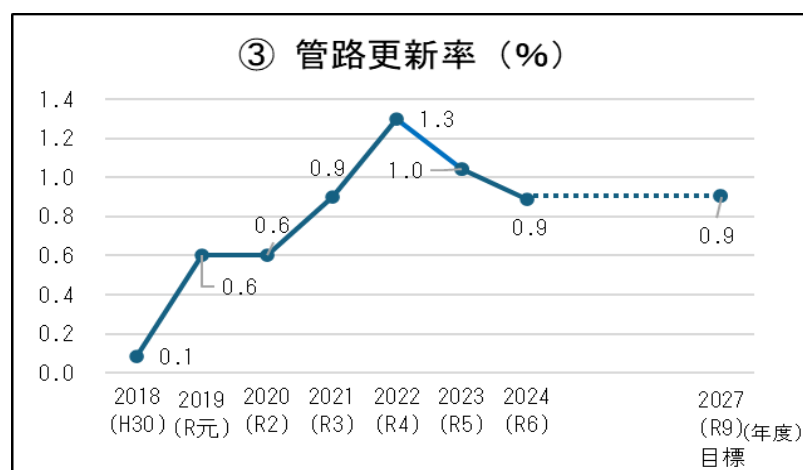


■本市の状況

法定耐用年数で算出した管路経年化率は上昇傾向にありますが、計画通り推移しています。

なお、第1次経営戦略で定めた更新基準を経過した管路はありません。

③ 管路更新率



■本市の状況

目標値を超える値で管路の更新を進めています。

イ 水道施設の耐震化

① 浄水施設耐震化率

■指標の概要

耐震対策の施されている浄水施設能力の割合で、災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表す指標です。数値は高いことが望めます。

$$\text{浄水施設耐震化率}(\%) = \frac{\text{耐震対策の施されている浄水施設能力}}{\text{全浄水施設能力}} \times 100$$

■本市の状況

既に浄水施設の耐震化を終えています。

② 配水池耐震施設率

■指標の概要

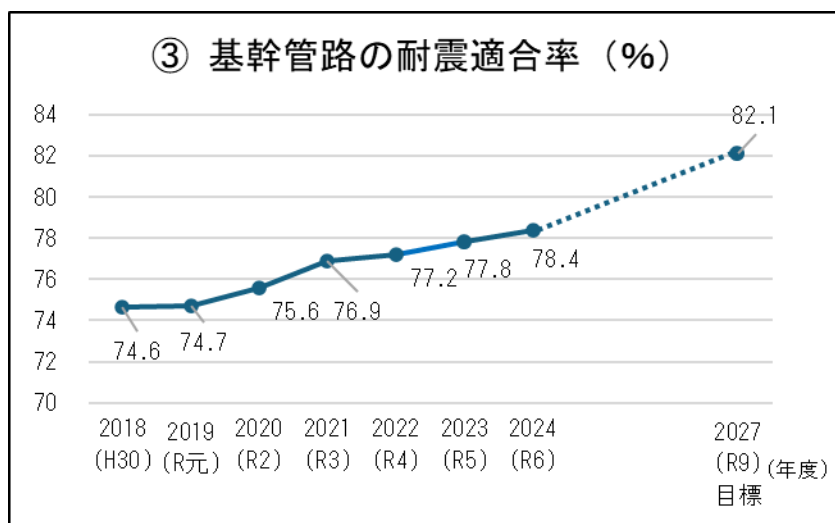
耐震対策の施されている配水池容量の割合で、災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標です。数値は高いことが望めます。

$$\text{配水池耐震施設率}(\%) = \frac{\text{耐震対策の施されている配水池有効容量}}{\text{配水池有効容量}} \times 100$$

■本市の状況

既に配水池の耐震化を終えています。

③ 基幹管路の耐震適合率



■指標の概要

耐震管に加え、地盤の性状を勘案すれば耐震性があると評価できる基幹管路の割合で、数値は高いことが望まれます。

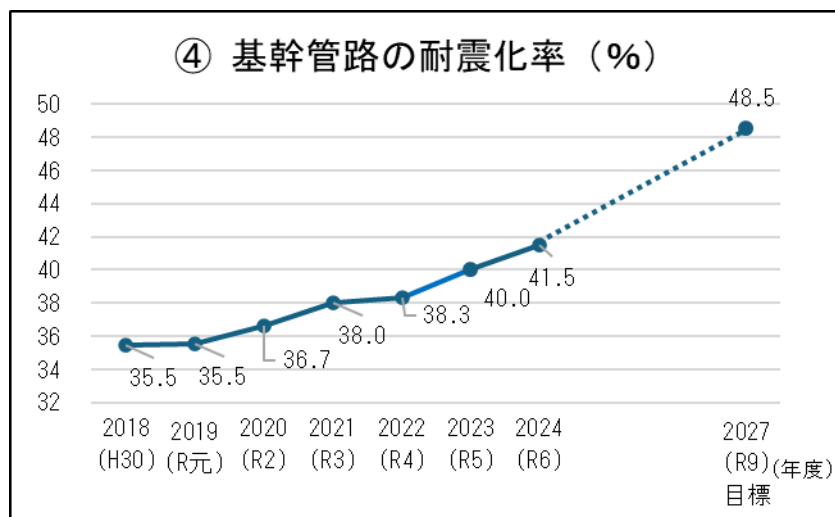
$$\text{基幹管路の耐震適合率(\%)} = \frac{\text{耐震適合性のある基幹管路延長}}{\text{基幹管路の延長}} \times 100$$

■本市の状況

計画どおりに推移しています。

なお、東山ポンプ場の供用開始に伴い、2026 年度(令和8年度)に非耐震化路線を廃止することで、耐震適合率が上昇する見込みです。

④ 基幹管路の耐震化率



■指標の概要

基幹管路の延長に対する耐震管の延長割合で、災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標です。数値は高いことが望めます。

$$\text{基幹管路の耐震化率(\%)} = \frac{\text{基幹管路の耐震管延長}}{\text{基幹管路の延長}} \times 100$$

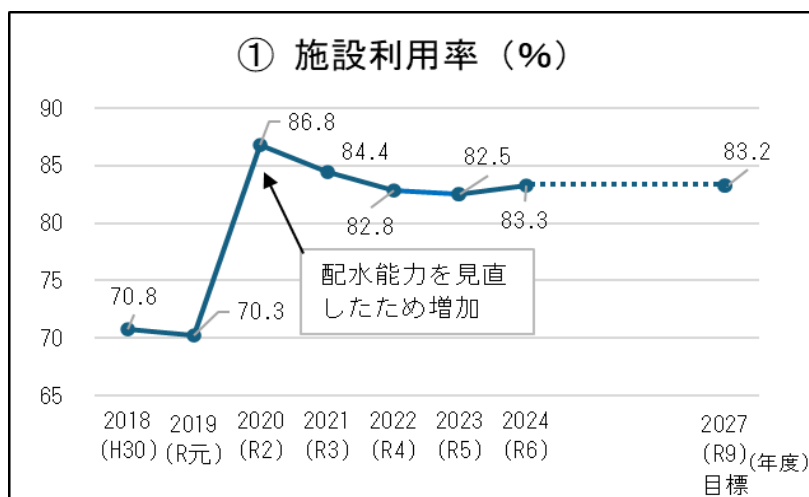
■本市の状況

計画どおりに推移しています。

なお、耐震適合率と同様に上昇する見込みです。

ウ 将来を見据えた適正な施設の検証

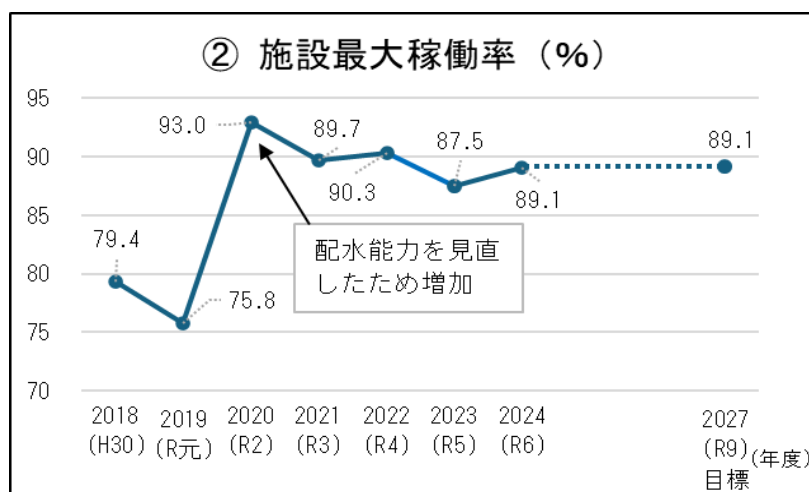
① 施設利用率



■本市の状況

目標値に近い値で安定して推移しています。

② 施設最大稼働率



■指標の概要

施設能力に対する1日最大配水量の割合で、水道施設の効率性を表す指標です。数値が高いほど施設が有効活用されていることとなりますが、100％に近い場合は、安定的な給水に問題があるとされています。

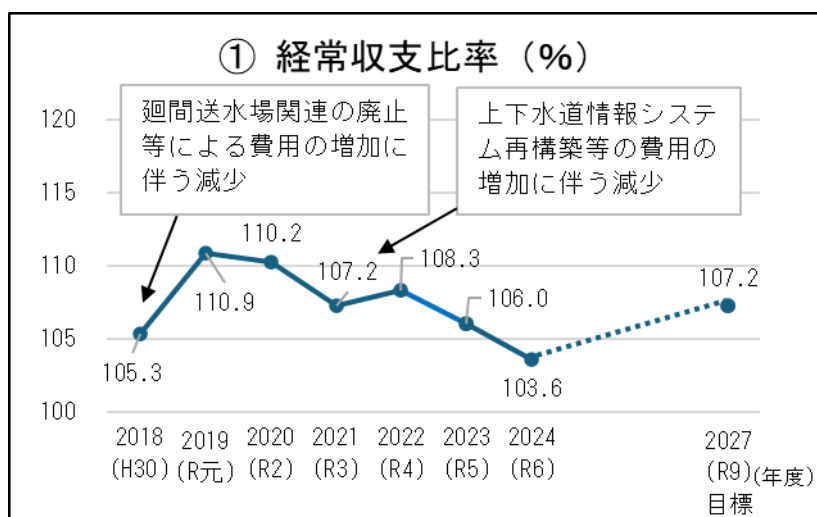
$$\text{施設最大稼働率(\%)} = \frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$$

■本市の状況

目標値に近い値で安定して推移しています。

エ 収益の確保と経費の削減

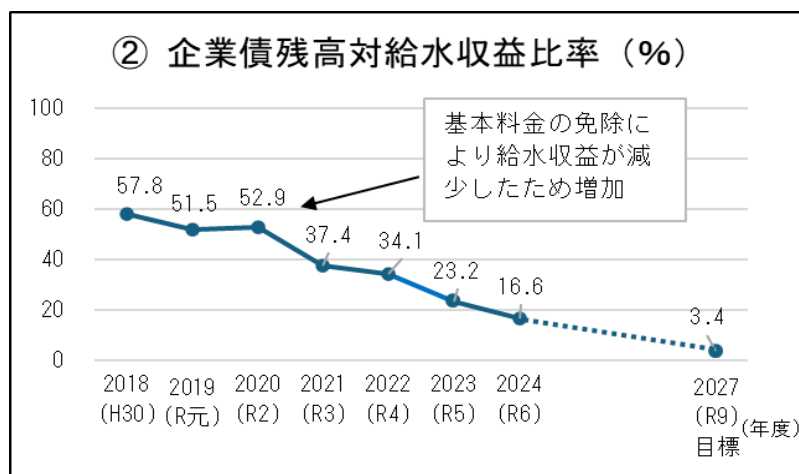
① 経常収支比率



■本市の状況

2018年度(平成30年度)における資産減耗費や2021年度(令和3年度)におけるシステム更新等の経常費用の増加等を除き、給水人口や1人当たりの水需要の減少により経常収益は、減少傾向で、物価高騰等により経常費用は、増加傾向であるため、年々低下しており、目標の達成は、困難な状況です。

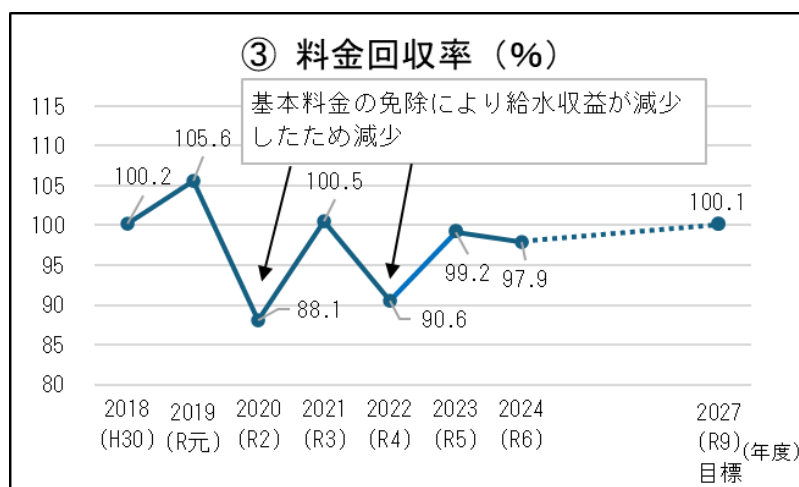
② 企業債残高対給水収益比率



■本市の状況

2001年度(平成13年度)から2024年度(令和6年度)まで新たな企業債の借り入れを行っていないため、減少していましたが、2025年度(令和7年度)に借り入れたため、目標の達成は、困難な状況です。

③ 料金回収率

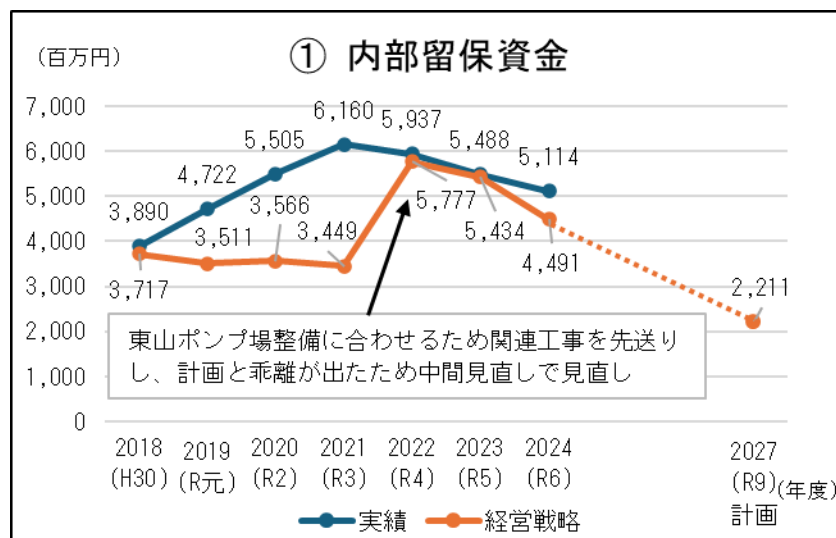


■本市の状況

2020年度(令和2年度)に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う支援対策、2022年度(令和4年度)に物価高騰の支援対策として水道料金の基本料金を免除したことにより、給水収益が減少したため低くなっています。全体的に減少傾向で2023年度(令和5年度)からは、給水人口の減少や1人当たりの水需要の減少等に伴う収入の減少、物価高騰等に伴う費用の増加により、100%を下回っており、目標の達成は、困難な状況です。

オ 財政計画との比較

① 内部留保資金



■本市の状況

第1次経営戦略の中間見直し前は、東山ポンプ場整備に合わせるため関連する工事を先送りしていたため、計画と乖離が生じていましたが、2022年度（令和4年度）の見直し後は、概ね計画どおり推移しており、2024年度（令和6年度）については、事業の繰越が多かったため、内部留保資金の減少は抑えられています。

2025年度（令和7年度）は、利益の減少に加え、物価の高騰や繰越した事業を進めるため、整備費が多額となり、内部留保資金が大幅に減少する見込みとなったことから、当初予定していなかった企業債を借り入れました。

また、経常収支比率の推移から、経営環境はさらに厳しくなることが予想されるため、整備費に対する財源確保などの対策をしなければ、内部留保資金は計画値を下回る見込みです。

(3) 現状分析から見える課題

■類似団体との比較

「ア 経営の健全性・効率性」のうち①経常収支比率と⑥料金回収率において、類似団体平均を下回っている状態にあります。また、「イ 老朽化の状況」のうち、①有形固定資産減価償却率では、類似団体平均と比べて老朽化が進んでいる状況にあります。

■目標値との比較

「エ 収益の確保と経費の削減」のうち①経常収支比率や③料金回収率において、給水人口や1人当たりの水需要の減少により収益が減少傾向で、費用については物価高騰等により増加傾向にあるため、2024年度(令和6年度)実績は2027年度(令和9年度)目標を下回っており、特に③料金回収率は100%を下回り、水道料金で必要経費が賄えていない状況に陥っています。

■内部留保資金

「オ 財政計画との比較」の①内部留保資金の2024年度(令和6年度)実績は、第1次経営戦略の見込みを上回っていますが、これは、予定していた一部工事を繰り越したためで、2026年度(令和8年度)の整備費は第1次経営戦略の予定を上回る見込みです。そのため、当初予定していなかった企業債の借り入れにより一部費用を賄わなければ、内部留保資金は、計画より大幅に減少する見込みとなっています。

更に、人口減少などに伴う給水収益の減少や、物価上昇に伴う費用の増加は今後も続くものと考えられることから、経常収支比率や料金回収率は更に悪化することが見込まれます。この場合、水道施設更新の財源となる内部留保資金の確保が難しくなることを意味しますが、一方で有形固定資産減価償却率や管路経年化率は年々増加することが見込まれることから、更新のための財源が必要となります。

本市水道事業が将来にわたり安全で安心な水を安定して供給を継続していくためには、これらの課題を解決し安定した経営基盤を持続する必要があることから、将来の事業環境を見据えた方針を定め、新たな投資試算に基づいた財源確保の検討を行い、投資・財政計画の見直しを行います。